

發行編輯人 川崎文治 本社下同番地(電話六三〇番) 印刷所 常盤毎日印刷所

# 常盤新聞

定部金貳圓 廣告五號十二行 印刷費別計 郵税五厘 料告字話一行 日刊祝日ノ翌發行所 常盤毎日新聞社 電話六三〇番

刊夕日三月一十

### 常盤論壇

#### 第二貴族の對策

田中五郎

過去の制限選舉の下に選出せられたる處の代議士は一旦解散せらるゝや浮び出づるものは非常に少く或は三分の一位に減少するにあらずやとさへ噂せられてゐるのである。我々常に政治改革に任じて特に貴族院改革を標榜して居るものゝ目から見るならばかかる事は寧ろ極めて慶すべきことであつて舊議員が滅びて否一人も居らなくなつて新議員のみによりて議會が占有せ

らるゝと云ふことであるならば我々の目的とする處は苦もなく到達せらるゝ譯である、此の故に我れ等は普選の實現を今更ながら喜ぶと共に解散の來らんことを希望して居るのである、政治をして眞に國民の政治たらしめ在來の政治的舊弊を根本的に一掃することは今後國民の當然努むべき義務であつて、貴族院改革の如き正に其の一に加ふべき最も有力なる問題である此の意味に於て先輩は對議會策も大に考ふるが國民全體の覺醒と云ふ點に重きをおき連日各地に於て大活動を續けてゐるのである。をばり

一冊の代金で御希望通りな五冊の雜誌が自由の讀める川崎巡回文庫 (申込次第規則書進呈)

看護婦派出の求めに應ず 平町南町 看護婦會 電話三〇七番

加藤營業所 平町白銀町電話三二二番

柳町全櫻 七圓二圓

カフエースズラン 電話一四五番

高久病院 院長 醫學士 高久忠 副院長 新潟醫學士 赤羽清 藥局長 藥劑師 佐竹菊雄

平町田町電話三一五番

養命酒 酒藥靈

特約店 山野邊藥局 福島縣平町五丁目 藥劑師 山野邊東次郎

食肉の好季 一般の御家庭に幾分なりとも貢獻致したい微意を持ちまして品質第一を商號とする弊店の食肉を是非御進め致します。

牛豚肉問屋 大塚吉藏商店 平町四丁目川岸通り

遠藤パン 小僧さん入用(有聲座隣) 喰べてたいしい

御定食 錢十五前一人 御香の飯 御焼肴 御吸物 御さしみ

うなぎ。そば 親子丼。五もく 一品まつや 料理 まつや 平町長橋町

### 常盤文藝

#### 後の月

立てし戸を又開けさせて 名残月 夢吉  
竹林の逸士ほろ酔ふ名残 月 夢吉  
折々は障子しめけり後の 月 雪村  
異域の旅偲ぶ宴や後の月 大北  
燒栗も冷えし句會や後の 月 雪村  
よもすがらそゞろ歩かん 後の月 天仙  
行き盡す野道も月の名残 かな 雪村  
船數も減りて後の月靜かなり 大北  
豆や栗類張り賞づる後の 月 耕影  
丹後澤銀波碎けて後の月 耕影  
露物見岡月に名残の別れ酒 耕影  
夜更けまで夕殘を惜む後の月 松堂

吉田眼科醫院 平町南町(電話四十七番) 停留場 磐城銀行向

松島名産 カキ貝 料理 平町 井 電話一六七番

風景絶佳 料理部開始御披露 中將湯入浴無料 海老屋 平町鎌田橋際

製麵部モ從來通御引立願上候

磐城セメント會社特約店 釜屋商店 磐城平町五丁目電話一三九番

助手募集 男子(十五歳ヨリ)各一名 女子(十八歳マデ)各一名 右至急募集す本人來談の事

平町南町(電話四十七番) 停留場 磐城銀行向

活版印刷の御用命を御願致します

明鮮美優 嚙叮速敏

所刷印日每警常 五三町橋長町平 (番〇三六話電)

福壽 淋病 婦人病 專門 院病村松 院部科外

折中 新型帽子 五、六拾錢ヨリ (三圓位マデ) ワイシヤツ 拾圓位マデ ツルヤ 平四丁目

冬物に 折中 新型帽子 五、六拾錢ヨリ (三圓位マデ) ワイシヤツ 拾圓位マデ ツルヤ 平四丁目

# 平町の水道料は 十二月から改正

## 専用せんと全部廢して 何れもメートル制に

平町の上水道料金は貧富によつて等差を設け戸數割納税額を標準として一戸最低は十錢から最高一圓廿錢平均五十錢を又専用引込栓の使用者は湯屋や理髮業などメートル法を用ゆべく指定された職業の者以外は一戸の人口を標準に徴収したのであつたが

### 水の價に

まで高下を設けるは穩當でないとして監督官廳からの注意と専用栓を人口による時は兎角正當な人數を申告しない者が多く水道部でもてこずつたので共用栓は現在より

### 平均十錢

を引下げすべし一戸四十錢とし引込みの専用せんは全部メートル制をとり水の濫費を防ぐべく水道條例の改正を議決認可を申請中であつたが去る廿七日付内務省から

### 認可され

たので近く告示の上来る十二月から左の如く料金を改正實施する筈である、メートル計量機を取付くべきものは現在専用引込栓による給水千五百萬圓のうち六百五十戸で計量機は 八千圓を以てすでに購入してあるから十一月早々取付けに着手し取付工事は町費負擔とするも材料費(一戸〇均四

(圓)は給水者から徴収する

### 改正料金

共用栓一戸四十錢、牛馬一頭廿錢浴槽廿錢、専用栓一戸十立方メートル迄八十四錢計量機損料卅五錢、十六立方迄二圓卅五錢、十七

### 自慢會の

## 詳報は明紙に

### 審査長の交渉

昨報本社主催並び自慢會の審査長投票は原精一氏が最高票である爲め目下同氏に對して審査長を囑託すべく交渉中に付き同催しの詳報は明紙に發表す

## 平小鐵道を 目標にして

### 小名濱發展策

石城郡小名濱町は本縣下の漁業地として重きをなす大の縣費を投じて漁港の修築をなしその他水産試驗場があつて今日は

### 無電を

漁業上によ

で利用し大いに漁船の活躍

を促しその他漁獲物の加工製造等を試みまた測候所もあり漁業地としてまれな設備を有し近縣に誇り得る譯であるが、肝心な陸上の輸送設備が極めて不完全な上に

### 取引き

魚價も低廉なので最近のサンマ豊漁時をひかへ付近漁船はもちろ

### 漁夫を

多く相手とする茶屋小屋の如き全く客足さびしくたまにあつても

## 山崎與三郎氏

### 紺綬褒賞下賜さる

平町山崎與三郎氏は大正十一年六月平水道敷設費に一萬圓、同十三年十二月恩賜財團濟生會千圓寄附したその篤行に對し今回紺綬褒賞を下賜されて表彰さるるの光榮に接した

## 新設區祝賀

### 川前村にて

石城郡川前村は從來十一區制であつたが戸數増加の結果一區を増して十二區をシ

## 職業紹介

### 幾分活氣出づ

平町職業紹介所取扱に係る

それ等は多く地元民で現金勘定の者が少ないので休業同様の有様を呈し従つて廿数名ある藝者も連日お茶つ引きの状態にあるので

## 獻堂紀念

平小鐵道の必要な事を痛感すると共に漁港の發展には海上の設備と相まつて陸上の設備を完備するにあ

平町材木町平バブテスト教會及び信榮幼稚園のシン築落成せる爲め七日午後一時より獻堂式を舉行し更らに午後七時より獻堂紀念講演會を備し神學博士千葉勇五郎氏の「歡喜に満ちて」及び牧師橋本宗範氏の「ベテロ教會觀」と題する講演あり翌八日午後七時から千葉神學博士の「苦難に處して」の講演ある由

### 實現に

今後一層の

## 鯉漁が増す

### 江名組合調査

九月中の求職者は廿七名求人者は廿四名で其内紹介人員廿名との事であるが、工

石城郡江名濱に於ける本年の夏職鯉漁期は去る卅一日を以つて締切つたが漁業組合の調査に依れば最高二萬八千數百圓にて前年よりも

### 出生

△鍛冶町一三 小泉清次郎氏二男利雄

△紺屋町六六 當時東京府北豊島郡日暮里國分源吉氏六女房子

△才地小路三〇 吉知定治郎氏長男一郎

△白銀町二二 黒川嘉一郎氏三女ヨシ子

### 婚姻

△盛岡市志家第六地 製麵業小笠原徳助氏(三三)四丁目佐藤キキ(三三)

△田町一 下駄職大野與四郎(二六)

△田町四 鶴沼ヨト(三二)

### 死亡

△田中三八 當時石城郡内郷村自土ノブ(四〇)

## 産業組合の 資金を増大し

### 眞の活動を期す

### 尾形産業主事語る

石城郡下の町村産業組合は獎勵の結果大分増加はして來たが概して近年設置の新らしきもので爲めに豊富に資金なく

### 活動上

常に支障を來たしてゐるこれに就て尾形産業主事は語る『本郡の産業組合は東海道關西地方にくらべ資金がいちじるしく貧弱である、従つて活動も意の如くでないので

### 資金の

造成にも困

難を感じてゐる働きについて見ても關西地方から金を吸収して東北地方に貸出し

てゐる状態である、第一組合の活動が足らぬといふのが萬全の信用が少くない、傾向で大資産家を組合員に加

### 外なく

年々低資の

貸付を申請するものが本郡

には殊に多い、これは組合

をとる事が

第一の 策であるさ

うなれば組合は大なる信用

を堅めて行くので組合を利

用して購買販賣その他中央

會の出資利まはり等からま

す、組合が擴張されるの

### 今後は

各組合とも

その町村の金を吸収する事

が必要なる事はもち論で今回

シンの石城販賣信用組合

と相まつて大々的に活動し

たい方針である」と

### 京阪の旅から

### 十月廿七日 第七信

### 平商京阪旅行團

柔かい情調に富んだ京の夢路はいづこからとなく響き渡る鐘の音に京の夜は明けた蒲團着て寝たる姿の東山はまだ夢より覺めない。午前七時半と云ふに宿を出發この日吾等の先輩白井新君が態々大阪から挨拶かた、應援

に來て呉れた一行はいよ

／＼元氣付いて御所を拜

觀し北野天満宮に詣でそ

れから金閣寺を見たこれ

より疲れた足を引かず

埃り多い田舎道を歩いて

電車にて嵐山に向ふ清楚

な嵐山は今には特になら

黄に黄から紅に衣變らん

としてゐる渡月橋により

鏡の様な流れを渡つて櫻

樹の間に晝食をなすポー

トを清流に浮べて遊ぶも

のもあつた、こゝを發し

て電車にて西本願寺東本

願寺を参拜した、恩慕と

憧憬との的となつてゐた

京の都も無限の名残をど

めて四時三十三分別れ

日の短さを恨むうちに琵琶湖琵琶湖と叫ぶ三井寺の塔も瀨田の唐橋も過ぎ列車は段々東京に向つて突進した特に名古屋、静岡あたりは夢中になつてゐた頃だつた楽しい一日の疲労を今になつてよく感じたのである、夜は明け来て来た列車内はスチームで相當暖くなつてゐるが、時々ガラス窓から冷氣が吹込んで來る、六時半頃から省線電車の電線が見えた間もなく大東京驛に再び着いた。ピタリ朝の七時だつたので一同は朝風に心よくホームに飛び下りた

### 川前納税表彰

### 石城

郡川前村役場にては去る卅一日天長節祝日を卜この表彰を行つたと